

# 日本原子力学会 核燃料部会

## 平成 25 年度 第三回運営小委員会議事録

日時 : 平成 25 年 11 月 21 日 (木) 13:30~15:30

場所 : 日本原子力学会 事務局 会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

湊部会長、安部田副部会長、池田委員 (NDC)、池田委員 (JNFL)、岩元委員、逢坂委員、小野岡委員、木下委員、草ヶ谷委員、手島様 (高野委員代理)、藤塚委員、寺井委員、永瀬委員、平井委員、巻上委員、松浦委員、野田[記] (17 名)

### 議事

#### 1. 前回運営小委員会議事録確認

野田庶務幹事から、前回 (第二回) 運営小委員会議事録及び総会議事録 (資料 No. 1) が提示された。なお、メールにて事前に議事録案を提示済みであり、説明は省略。

野田庶務幹事から、コメントがある場合 1 週間程度で連絡するように依頼があった。

#### 2. 運営委員交代について

野田庶務幹事から、四国電力の武田委員から藤塚委員への委員交代について紹介があった。また、藤塚委員から自己紹介があった。

#### 3. 平成 25 年度支出予想及び平成 26 年度予算案について

野田庶務幹事から、資料 No. 3 により、平成 25 年度収支予想及び平成 26 年度予算案について説明があった。

その他欄のシンポジウム等の費用支出については、支出前に当委員会等で審議、承認することを確認した。

#### 4. 燃料高度化ロードマップ実行ワーキンググループの余剰金の扱いについて

巻上委員から、資料 No. 4 により、燃料高度化ロードマップ実行ワーキンググループの余剰金 (290,736 円) の取扱いについて説明があった。学会本部に繰り入れる案と核燃料部会の通常予算に繰り入れる案があり、審議の結果、核燃料部会の通常予算に繰り入れることとした。

また、企画委員会に繰り入れ金の使用計画を提出する必要があり、資料 No. 4 添付 1 をベースにして対応することを確認した。

#### 5. 核燃料部会報について

小野岡委員から、資料 No. 5 により、部会報 (No. 49-1) の編集進捗状況の説明があった。すべてが入稿済みであり、12 月に発行予定。

また、部会報 (No. 49-2) を平成 26 年 5~6 月に発行する計画で作業を進める旨説明があった。

#### 6. 平成 25 年度夏期セミナーの開催報告について

松浦委員から、資料 No. 6 により、核燃料・夏期セミナーの開催報告があった。全体の反省点としては、学生の参加者が少なく、質疑を含めた各講演の時間管理に問題あったことがあげられる。

収入計画 1,600 千円に対して、収入実績 1,993 千円であったが、宿泊費を一時的に収入に加えているため、実質は 1,100 千円程度であった。

## 7. 平成26年度夏期セミナーについて

永瀬委員から、資料 No.7 により、次回夏期セミナーの計画について説明があった。開催日は7月、開催地は静岡県浜名湖、茨城県つくば、長野県軽井沢で検討中。

## 8. 2014年春の年会の企画セッションについて

平井委員から、資料 No.8 により、2014年春の年会企画セッションについて説明があった。企画セッション提案書は、メール審議で承認済であり、10月24日に提出済。また、11月12日の部会等運営委員会で承認されている。

## 9. 第二回核燃料部会賞について

平井委員から、資料 No.9 により、第二回核燃料部会賞の対応状況の説明があった。受賞対象の「推薦期限を起点とする過去3年間に公表」の定義について、基幹研究の成果以外を含めるのか議論し、若手を対象とした奨励賞であることを踏まえ明確に定義しないこととした。また、前回落選した人を再度推薦しても良いことを確認した。

## 10. WRFPM2014の準備状況について

安部田副部長から、資料 No.10 により、準備状況の説明があった。EPRの Rosa YangさんとIAEAの講演を入れることを検討中で、それぞれの内諾を得ているとのこと。

## 11. ジルコネット設立について

安部田副部長から、資料 No.11 により、ジルコニウムに関するワーキンググループ（ジルコネット）設立の説明があり承認された。来年1月から活動を開始する予定。

## 12. ANFCの今後の運営について

逢坂委員から、資料 No.12 により、説明があった。中国のコンタクトパーソンに連絡が取れないこと、9年後の次回日本開催に向けた運営体制の構築が課題としてあげられる。課題について協議したが結論は出なかったため、引き続き企画小委員会で検討していくこととした。ANFCの安定運営のために、資料 No.12 添付2をベースとしてMOUを修正することについて提案があり、企画小委員会と運営小委員会で検討していくこととした。

## 13. 平成26年度 業務分担案について

平井委員から、資料 No.13 により、平成26年度業務分担案の説明があった。議事9.に関連して毎年部会賞選考を行っていくことになるため、今後はグループ3の国内企画担当が選考委員会幹事となり対応することが了承された。

## 14. これからの部会、運営小委員会について

安部田副部長から、資料 No.14 により、部会長、副部長が長期間交代していない状況と、長期任期解消のための対応案について説明があった。今後継続して検討していくこととした。